

教えるから 共に学ぶへ ⑪-1

今治市立菊間中学校
担任 土井 翔司

先日は、お忙しい中、人権・同和教育参観日へご参加いただきありがとうございました。今回の授業では、深刻な人権問題のひとつである「ヘイトスピーチ」に焦点を当て、他者を尊重する態度や、差別を見過ごさない勇気を育てることを目指しました。

授業では、まず、ヘイトスピーチの動画を見て、ヘイトスピーチにさらされる在日コリアンの方の心情を想像し、差別やヘイトに立ち向かう気持ちを持ちました。そして、ヘイトをなくすためには、どのような行動をとるべきかを班での話し合いを通して一人一人考えました（A課題）。

以下は、子どもたちのワークシートの抜粋です。ご一読いただき、今回の人権・同和教育参観日に対するご感想・ご意見をいただければ幸いです。今後とも、子どもたちの道徳心を伸ばしていけるような授業づくりのため、貴重なご意見とさせていただきます。何卒よろしくお願ひいたします。

ヘイトをなくすために

- ・一人一人の違いを認める。
- ・言葉に気を付ける。
- ・ヘイトデモに参加しない。
- ・呼びかけをする。
- ・差別をしていたら止める。
- ・交流して他国との関係を深める。
- ・講演会を開いて現状を知ってもらう。

授業の感想

- ・ヘイトスピーチは授業で初めて知りましたが、外国人には絶望や恐怖がたくさんあると思いました。ヘイトスピーチをなくして、いろんな人を迎えるような国になってほしいと思います。
- ・今まで私の知らない所でこのようなことが起きていたことを知り、改めて差別はいけないと考えることができました。
- ・差別を止めるためには、自分がそもそもそのことを知っておかないといけないので、勉強をしておきたいと感じました。
- ・ヘイトをなくすためには、行動することが大事だと気付き、まず私は小さいことからでもやりたいです。差別がない世界を作りたいです。

締め切り 11月4日（火）

切り取り線

授業へのご意見・ご感想